

2023年7月



Houlihan
Lokey

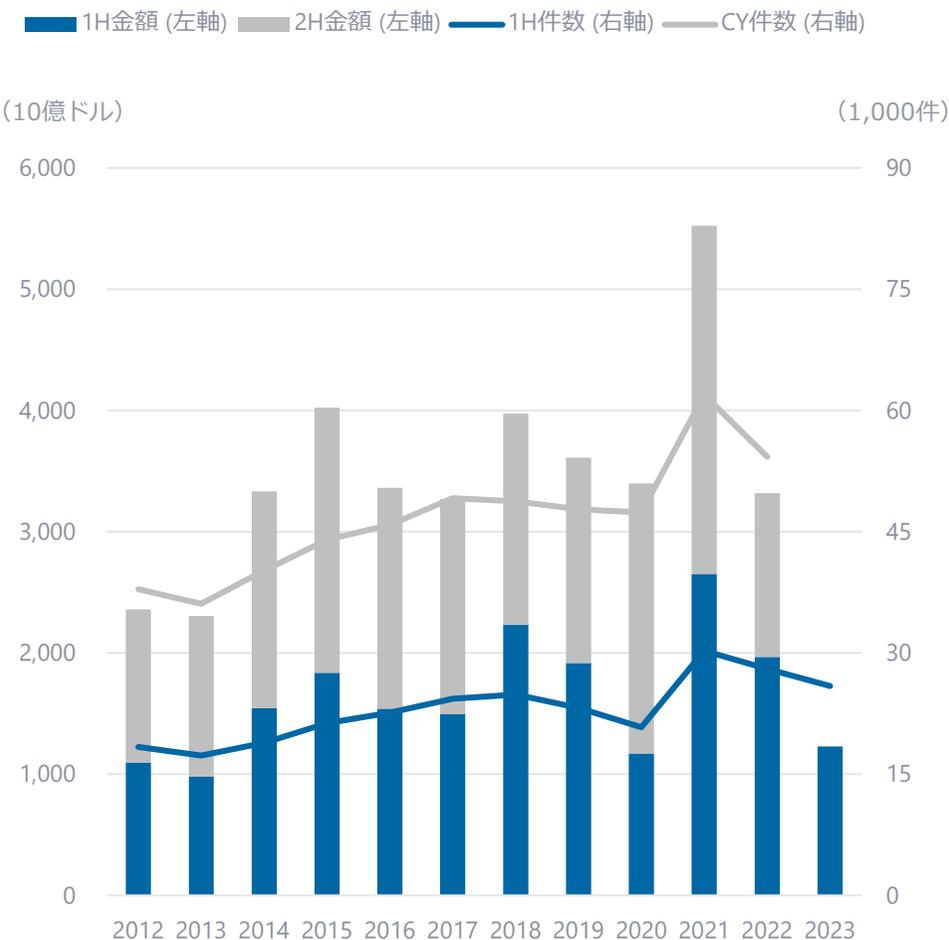
M&Aマーケットのトレンド (2023年上半期)

Strictly Confidential. Not for Distribution.

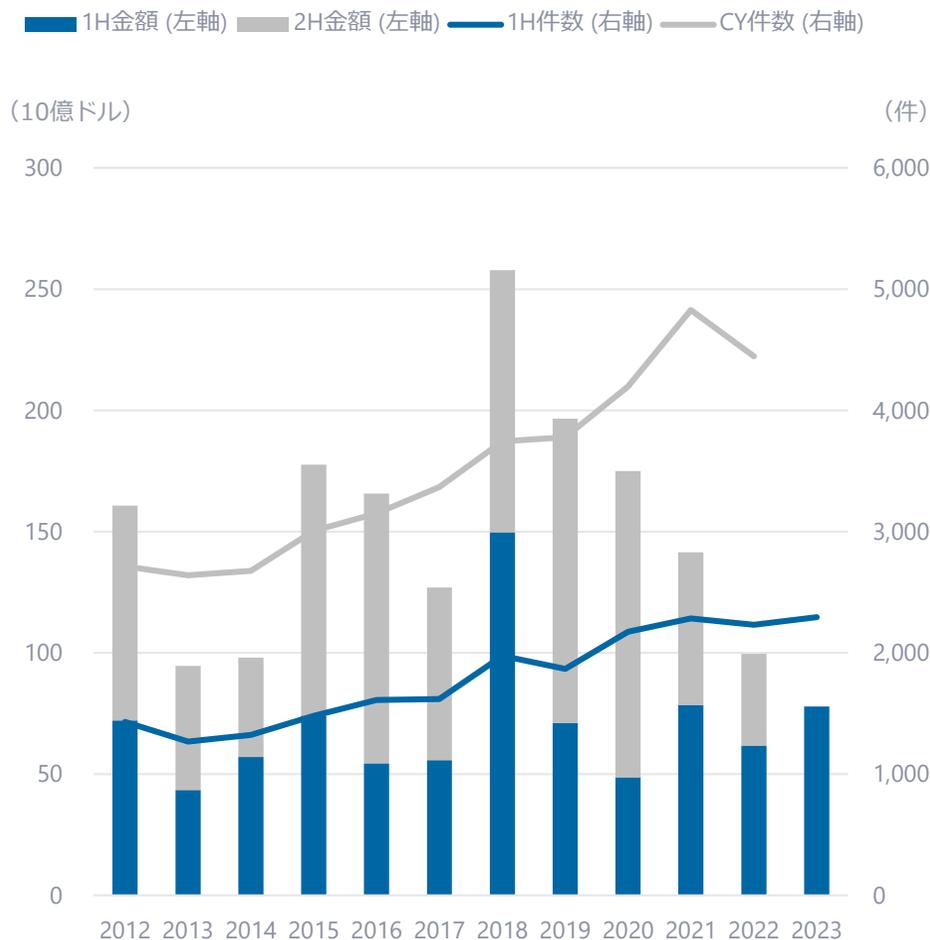
グローバル及び日本のM&A取引ボリュームの推移（グローバル/日本）

2023年上半期（以下「1H」）、グローバルの取引ボリューム（金額・件数）は厳しい資金調達環境の影響もあり前年比で縮小したものの、日本企業関連では底堅く増勢に転じた（2022年1H比）

M&A取引ボリュームの推移（グローバル）



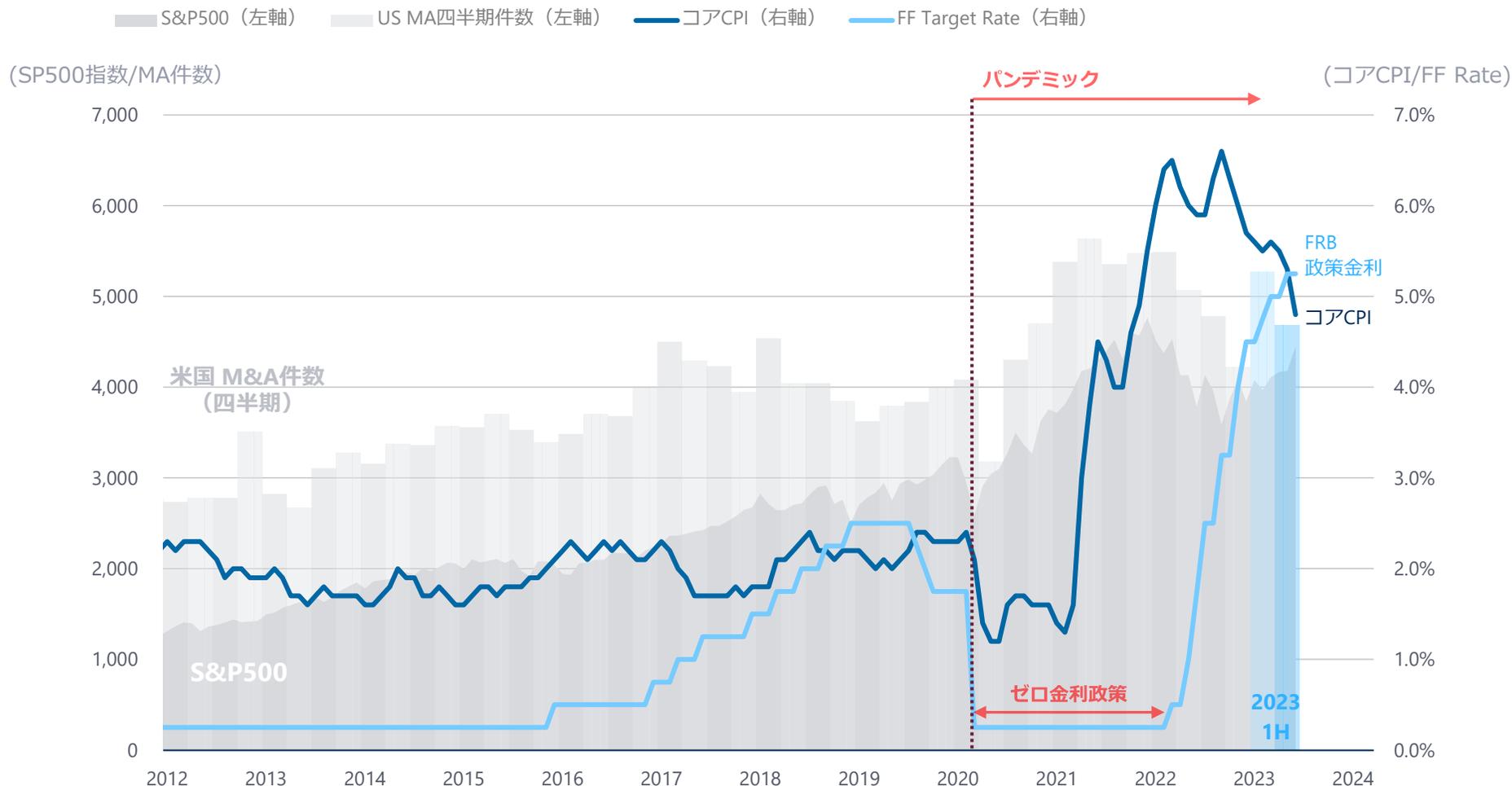
M&A取引ボリュームの推移（日本）



出所: Refinitiv
注: CYはCalendar Year、グローバルのデータからは日本を除外している

マクロ経済環境とM&A取引四半期ボリュームの推移（米国の例）

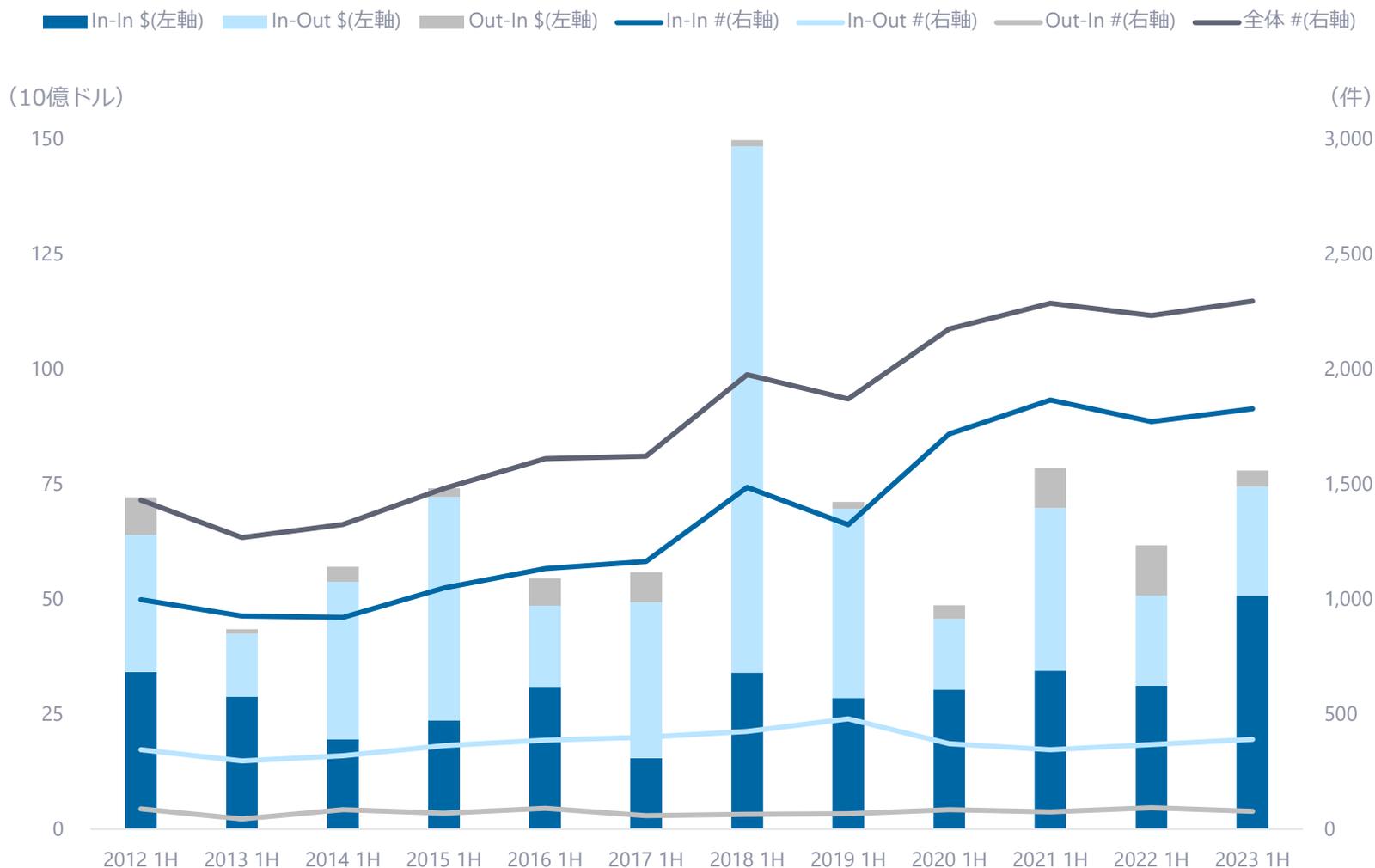
米国インフレ率（コアCPI）は2022年後半にピークアウトしており、S&P500指数は反転上昇。今後の政策金利引き上げ停止と共にM&A活動水準の底打ちが期待される



出所: Refinitiv, FactSet

日本企業関連M&A取引ボリューム（上半期） 国内/クロスボーダー内訳

- 2023年1Hは活発な国内案件がドライブし前年対比で約200億ドル（約3兆円）の増加。1兆円クラスの非公開化案件が複数見られた
- クロスボーダー案件（特にoutbound）は底堅く推移し、グローバルM&A市場において安定的に存在感を発揮

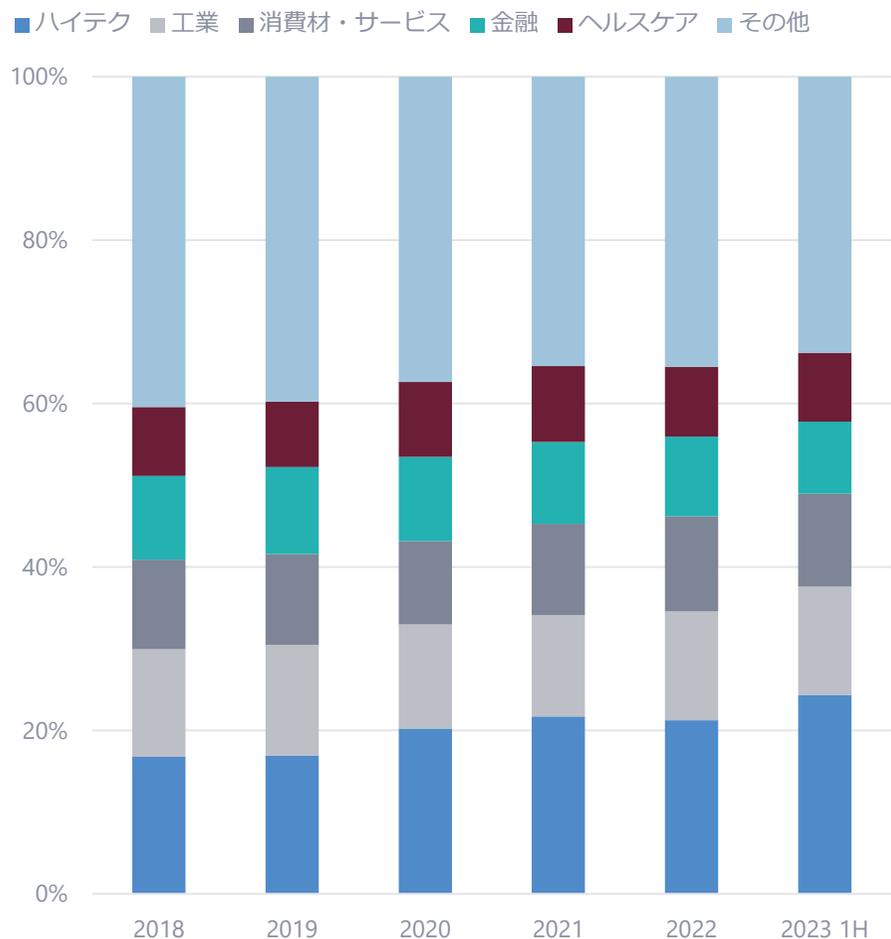


出所: Refinitiv

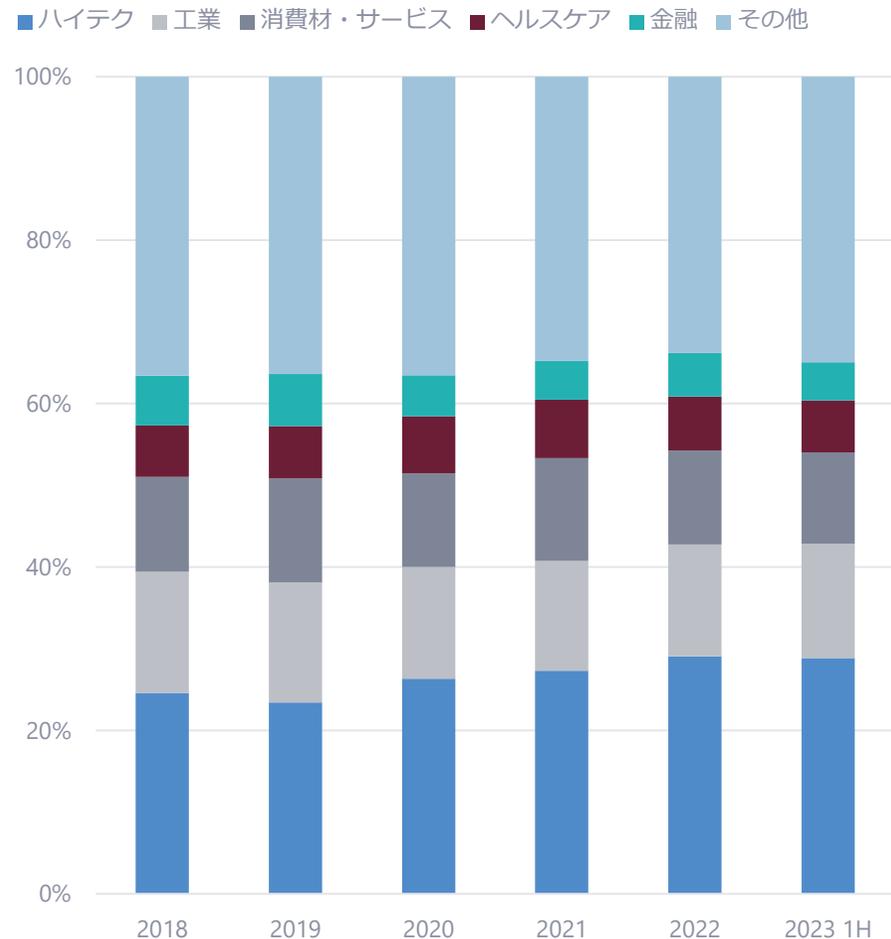
M&A取引件数の業種別構成比（グローバル及び日本）

製造業が多い日本はハイテク及び工業セクターM&Aの比率が高く、事業ポートフォリオの見直しが進行している。特にハイテクセクターの近年の伸長は、コロナ禍の中で各社のDX 対応速度が上がっていることも背景となっている

業種別構成比： グローバル



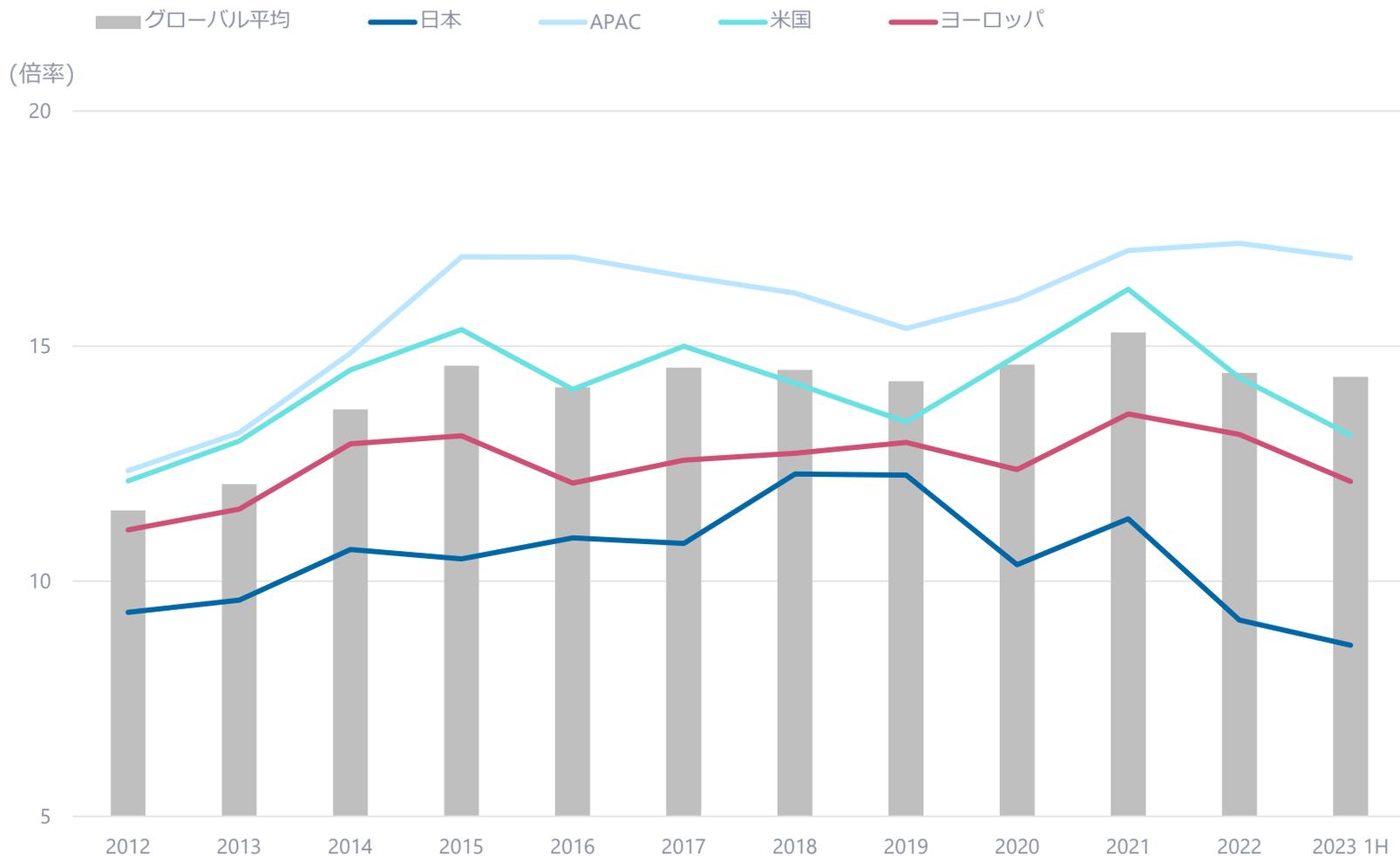
業種別構成比： 日本



出所: Refinitiv

バリュエーション（買収EV/EBITDAマルチプルの平均）の推移（グローバル及び日本）

2023年上半期も、APACを除く各地域で買収マルチプルの低下が継続。事業環境の見通しや欧米の資金調達環境における不確実性のあらわれでもあるが、これらのボトムアウトに伴う反転上昇の可能性に注視



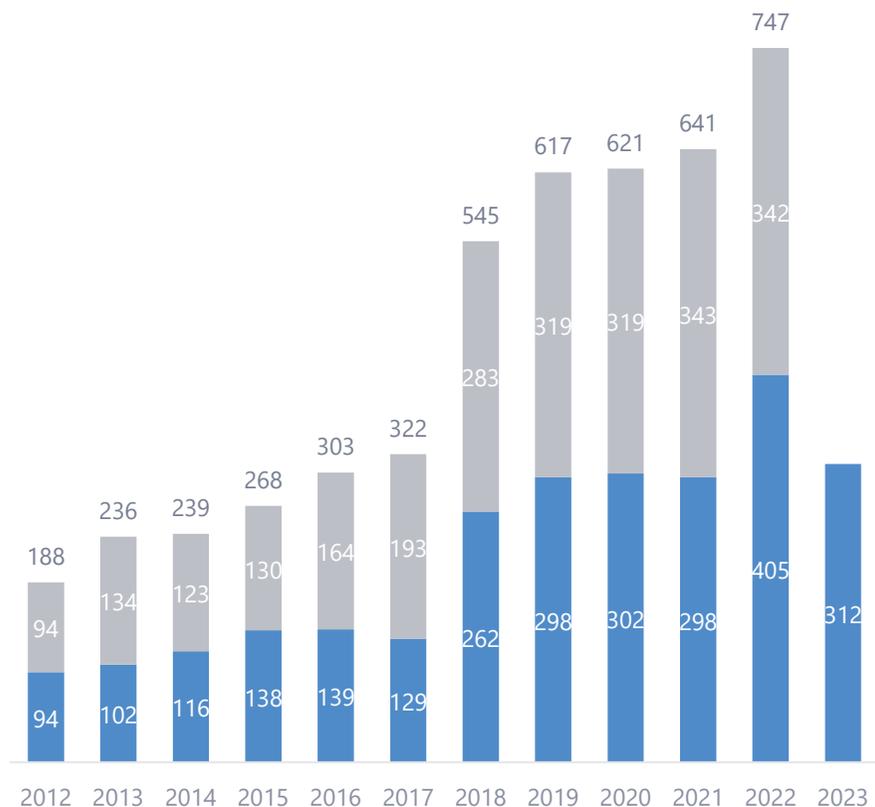
出所: Refinitiv

事業承継M&A件数（日本）

オーナー経営者の高齢化や後継者不足により、取引高は引き続き高水準で推移することが予想される

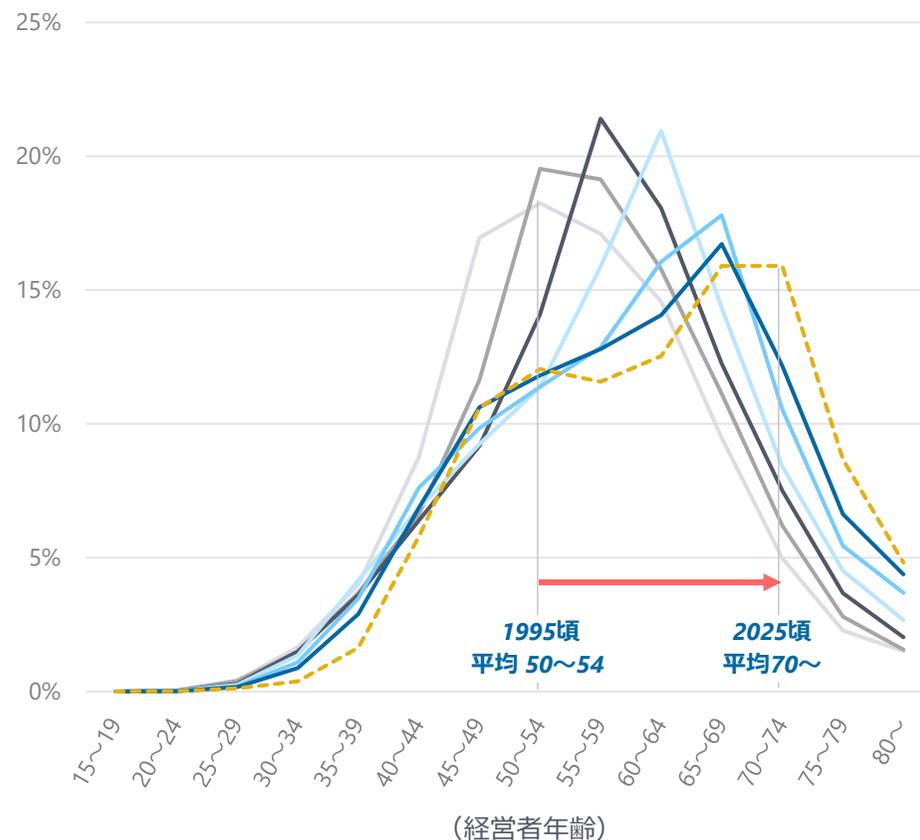
事業承継M&Aの推移

■ 1H ■ 2H



オーナー経営者の高齢化

— 1995 — 2000 — 2005 — 2010
— 2015 — 2018 - - - 2025(E)*

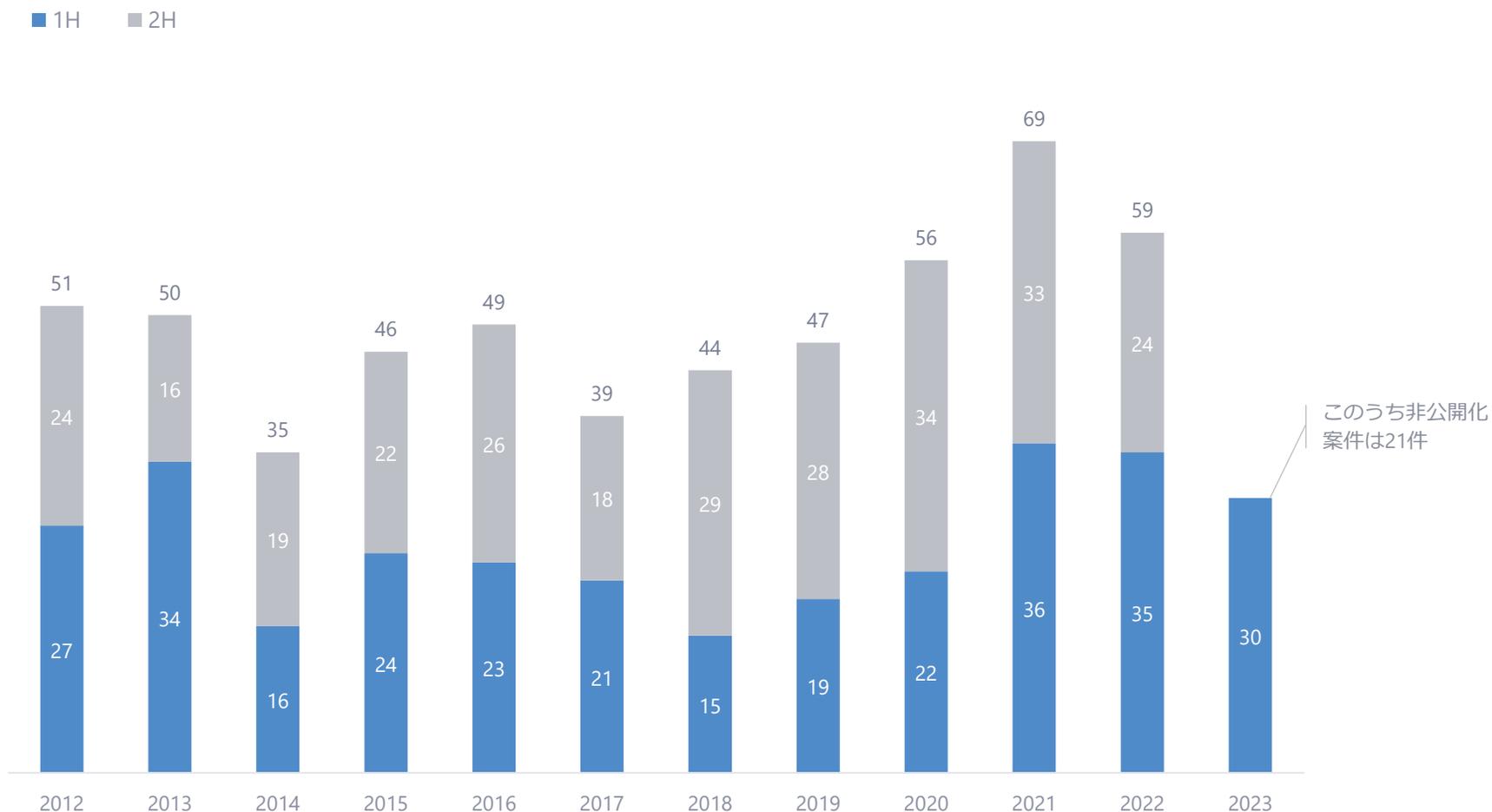


出所: レコフM&Aデータ

注: 国内向けM&A案件 (In-In, Out-In) の内、事業承継に該当する件数を抽出

公開買付案件数の推移（日本）

東証市場区分見直し時の経過措置の時限明確化、活発化するアクティビズム、経産省「企業買収における行動指針（案）」（今後正式リリース予定）の浸透等により、業界再編（提携/ 統合）やMBOを含む非公開化のための公開買付け案件は着実に増加すると見込まれる



出所: レコフM&Aデータ

注: 国内向けM&A案件（In-In、Out-In）の内、TOB（日本で届出）に該当する件数を抽出

留意事項

本プレゼンテーションは、フォーリハン・ローキー株式会社（以下「フォーリハン・ローキー」又は「弊社」という。）が貴社（以下「貴社」又は「受領者」という。）の為に、貴社内部限りの利用を前提として作成したものです。本プレゼンテーションは、貴社により今後実行される可能性のある一つ又は複数の取引について予備的な評価をする際の補助とすることを目的として作成されたものであり、本プレゼンテーションの内容の一部又は全部を公表する権利、また、いかなる第三者に対しても開示する権利も受領者に付与するものではありません。本プレゼンテーションは、貴社と協議する際の資料としての使用の為にのみ作成されたもので、弊社による口頭説明によって補完され、かつ、その説明との関連においてのみ考察されるべきものです。弊社の事前の書面による同意なしに、本プレゼンテーション及びその内容を他のいかなる目的にも使用することはできません。

弊社は、公共の情報源から入手した情報、その他弊社が独自に入手・検討した情報が、全て正確かつ完全であることを前提とし作成されたものであり、当該情報は、受領者が本取引を進めるか否かを評価するために必要とする可能性のあるすべての情報を含むとは限りません。フォーリハン・ローキーならびにその役員、取締役、従業員、代理人および関係者は、本プレゼンテーションに含まれる情報（将来の予測、事業の推測、見込みまたは利益に関する成果または合理性を含む。）または受領者もしくはそのアドバイザーに対して書面もしくは口頭で提供されるその他一切の情報の正確性、完全性、クオリティ、妥当性または適切性に関し、現在または将来において、明示的にも黙示的にも表明または保証を行わず、義務または責任を負わず、かつ、それらの一切の責任は明示的に免責されます。本プレゼンテーションに含まれる一切の情報に関し、フォーリハン・ローキーは独自の検証を行っていません。

本プレゼンテーションの内容は、法律、税務、規制、会計または投資に関する助言または勧告として解釈してはならないものとします。いかなる受領者も、本取引に関する法的事項その他の関連事項に関し、独自のカウンセル、税務アドバイザーおよび財務アドバイザーと相談すべきです。本プレゼンテーションは、すべての情報を網羅することを意図しておらず、また、貴社が必要とする可能性のあるすべての情報を含むことを意図していません。



Houlihan
Lokey

フーリハン・ローキー株式会社
〒100-6230 東京都千代田区丸の内 1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内30階
+81 3 6212 7100
CORPORATE FINANCE
FINANCIAL RESTRUCTURING
FINANCIAL AND VALUATION ADVISORY

HL.com